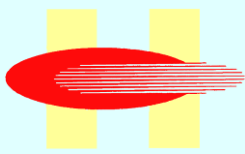




2011-2012年度



千葉東ロータリークラブ 週報



会長 穴倉 壽夫
幹事 加藤 隆

国際ロータリー会長 カルヤン・パネルジー
2790 地区ガバナー 山田 修平
第3分区Aガバナー補佐 高山 正孝

第941回例会 2012.6.4 (月)

四つのテスト 吉田 (朋) 会員



本日のお客様

船橋西RC	相川 信義 様
大功自動車	王 海燕 様
エヌケイケイ	馬 獅 様

会長挨拶

穴倉 壽夫 会長



先週は社会奉仕活動としては中身の濃い千葉駅前の花壇清掃でありました。5個の花壇がブラシでこすっただけで白さが輝いてきました。今までの中で、一番きれいになった清掃活動ではないかと参加者全員の感想でした。また、炉辺会合にお

いても、全員参加型の会合であったことが良かったと思います。意外と知っているようで誤解あるいは知らなかつたこともあったのではないのでしょうか。そんなことで、私の年度がいよいよ終了という時期になってようやくロータリーらしくなってきたのではないかと感じました。この気持ちや感覚を引き続き維持してもらいたいです。

前回に引き続き、決議 23-34 についてお話しします。今回は6項目の残りからです。

(2) 一般的に言って、ロータリー・クラブは、どんな立派な事業であっても、クラブがその遂行に対する責任の全部または一部を負う用意のない限り、その後援をしてはならない。

(3) ロータリー・クラブが奉仕活動を選ぶ場合に、その奉仕を行うことによって宣伝しようとか名声をえようとするのを求めるのではなく、ただ奉仕する機会を求めるべきである。

(4) ロータリー・クラブは、仕事の重複を避けるようにする必要があり、総じて、他に機関があり、それによってすでに立派に行われている事業に乗り出すようなことをしてはならない。

(5) ロータリー・クラブの奉仕活動は、なるべく現存の機関に協力する形で行うことが望ましいが、現存機関の設備や能力が目的の遂行に不十分である場合には、必要に応じ、新たに機関を設けることにしても差し支えない。ロータリー・クラブとしては、新たに重複した機関をつくるよりも、現存の機関を活用するほうが望ましい。

(6) ロータリー・クラブはそのすべての活動において、宣伝者として優れた働きをし、多大の成功を収めている。ロータリー・クラブは地域社会に存在する問題を見つけ出すことはしても、それ

がその地域社会全体の責任にかかわるものである場合には、単独でそれに手を下すようなことはしないで、他の人々にその解決の必要を悟らせる努力をし、地域社会全体にその責任を自覚させて、この仕事がロータリーだけの責任にならないで、本来その責任のある地域社会全体の仕事になるようにしている。また、ロータリーは、事業を始めたり、指導したりするが、一方、当然それに関心をもつていると考えられる他のすべての団体の協力を得るよう努力すべきであり、そして、当然ロータリー・クラブに帰すべき功績であっても、それに対する自分のほうの力を最小限度に評価して、そのすべての協力者の手柄にするようにしなければならない。

(7) クラブがひと固まりとなって行動するだけで足りるような事業よりも、広く全てのロータリアンが個々の力を動員するもののほうがロータリーの精神によりかなっているといえる。それは、ロータリー・クラブの綱領に基づく諸活動は、ロータリー・クラブの会員の奉仕の訓練を施す為と考えられた、いわば研究室の実験としてのみこれを見るべきだからである。

なお、これまでの話は尼崎西ロータリー・クラブ P P の田中毅さんの「ロータリーの歴史探訪」から引用させていただいたことを申し添えます。

幹 事 報 告

加藤 隆 幹事



- ◆ 千葉西 R C の会長幹事慰労激励会のお知らせが来ております。6月26日(火)18:30から東天紅です。登録料は6,000円、18日までに出席希望の方事務局まで。
- ◆ 24日に行われます親睦ゴルフは予定者数に達しました。有難うございました。出席者には後日詳細の連絡が行きますのでよろしく。

次 年 度 幹 事 報 告

吉田 朋令 次年度幹事



- ◆ 各委員長さんは活動計画書の原稿を今月中に必ず提出してください。
- ◆ 活動計画書の中にある会員名簿のメンテナンスをいたしますので変更のある方はご連絡ください。尚、自宅の住所、電話番号、携帯番号につきましては掲載されませんが、連絡等の都合上同時をお願いいたします。
- ◆ 次年度からは例会等の出欠の確認につきまして、欠席者のみの連絡ではなく「出席・欠席」の連絡をしていただく都合上、連絡方法の確認をいたします。事務局より FAX 等が届くと思いますので必ずご返事ください。

今 月 の お 祝 い

誕生日祝

HAPPY BIRTHDAY!



神田会員

結婚記念日祝い





山本会員

《この1年を振り返って》

宍倉 会長



昨年の7月は、初めの一週間近隣のクラブの新年度初例会への出席であわただしく過ごしたことを思い出します。各クラブへの訪問は地区ガバナー補佐である高山さんがおられた関係で加藤幹事ともども3人一緒の行動でした

私の年度の最大の特徴は、順番とはいえ高山さんをガバナー補佐として輩出し、ガバナー補佐経験者である加藤幹事の全面的なバックアップによるクラブ運営であったことです。

前半の行事で申し上げますと、9月に地区のガバナー訪問がありました。山田ガバナーのクラブ訪問では、当クラブの活動計画書が他クラブにない特徴を持っているというおほめの言葉をいただきました。加藤幹事と私とで何回も校正したつもりでしたが何か所かで誤植があったこと、会員の皆様からご指摘いただいたことを昨日のように思い出します。

前後しますが、事務局も新たに榎本さんを迎えて新年度がスタートしましたが、何もわからない彼女を支えてくれたのは加藤幹事でした。いまでは、榎本さんも事務局員としてちょうど1年が経過し、一通りことは任せられるようになっていただきました。今後の活躍が十分期待できると思い

ます。

11月には分区Aの親睦ゴルフ大会が山田ゴルフ倶楽部で開催されました。私が囃らずも支配人賞のキャデイバッグをいただき、これを忘年家族例会の景品として出品させていただいたのもいい思い出でした。大会当日は、会場が遠くであるにもかかわらず、早朝の受付から表彰式まで会員の皆様のご協力を得て無事終わることができました。この大会の景品については、親睦委員会の武田委員長そして、加藤幹事と話し合い、3月の東日本大震災の経験から防災グッズに統一しましたが、時宜にかなったものだと自負しています。

後半の半年ですが、2月にIMがポートプラザ千葉で開催されました。分区A B合同のIMのため、市原RCとの合同での開催でしたが、これも両クラブのガバナー補佐や幹事の連携プレーで乗り切ることができました。当時は、司会役を加藤幹事をお願いしていたのですが、ご本人が入退院を繰り返していた時期でありましたが、健康面での不安を一蹴する司会進行であり、ロータリーに対する加藤幹事の愛着そして責任感の強さを見せつけられた思い出でした。

そして、私の今年度の活動方針の一つである米山記念館の訪問を実施しました。日本のロータリーの創設者である米山梅吉氏の功績を見学できたことで、ロータリー活動の一部である米山記念奨学会への寄付についても理解が深まったのではないかと思います。

先月の12日の土曜日には恩寵園の子供たちとのバス旅行を行いました。このクラブを退会した石川さんが、今年も参加してくれたことは、私なりに解釈するとロータリアンの意識が石川さんの心の中にあるんだなと思いました。

ここまでは、この一年間の主な行事についてお話しさせていただきましたが、これからは私の会長としての反省点をいくつか述べさせていただきます。

まず、何といたっても幹事経験のないまま会長になったことから、クラブの対外的な関係にまったく疎かったことです。この点については加藤幹事にだいぶ助けていただきました。できれば幹事経験者が会長となるシステムを確立していく必要があると思います。

また、会員数については増減なしという結果になりましたが、当クラブの会員の増強・維持について実質的には何もできなかったことがあります。私の従来からの考えは守りの姿勢というか、でき

るだけ退会者を出さないということが大事であると考えています。このことは、クラブの活性化や強化に繋がるものです。是非、このことを会員全員が共有していただきたく思います。

次に、クラブ運営についてですが、委員会活動が従来と同様に不活発であったことが挙げられます。いろいろと理由があるとは思いますが、この結果として理事会・役員会のメンバーでなければこのクラブの各委員会の活動がつかめないということになります。本来的には、委員会で議論してそして理事会に挙げるというのが本筋だと思えます。次年度は私の反省点を踏まえて、委員会内部の連絡網なり委員会会合を行っていただき、クラブとしてどのように活動したらいいのかを委員会レベルで検討していただきたいと思います。たとえば、委員会方針と活動計画を委員会内部で具体的な課題として検討・協議するなどしてみたいと思います。

最後になりましたが、加藤幹事、事務局の榎本さんには不慣れな私を支えていただき、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、私の年度もあと2回の例会で終わることになります。また、会員の皆様には、いろいろな面でご迷惑をおかけしましたことをこの席を借りてお詫び申し上げますとともに、今後とも今まで同様にお付き合いいただけるようお願い申し上げます。ありがとうございました。

加藤 幹事



2度目の幹事と言う事でしたが、前回の事はほとんど記憶になく、また、ロータリーの運営自体も大きく変化していましたので新しい気持ちで臨みました。分区の幹事会では私が一番のベテランであったため纏め役的な存在だったことも幸いし、

と同時に他クラブの幹事さんは年齢的に50代の前半でしたので年齢的な部分と、ロータリーに対する考え方のギャップを感じましたが、分区もクラブも1年間何とか皆様のご協力のおかげで過ごせました。また、当クラブからガバナー補佐を出した関係でそちらの方の仕事も加わりましたが、負担にはなりませんでした。

幹事と言うのはあくまで縁の下の力持ちで、主役になってはいけないのですが、私の性格上時々主役的な存在になり、反省しております。

後は個人的なことですが、「青天の霹靂」ある人は「鬼の霍乱」と言っていました。が、昨年の12月に生まれて初めて入院いたしまして、その影響で3か月ほど皆さんにご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。私は単なる偶然だと思っていましたが、やはり人間長い間の付けが回ってくるとつくづく感じました。皆さんもくれぐれも健康には留意してください。1年間本当にありがとうございました。

(^_^) B O X

- 武田 会員 今度の日曜日にT O K Y Oスカイツリーに行ってきます。次回報告します。
- 穴倉 会員 一年間お世話になりました。
- 神田 会員 誕生日のお祝い有難うございます。
- 原田 会員 穴倉会長、加藤幹事 一年間ご指導ありがとうございました。
シェルキャンティナー(ピアガーデン)の前売り券宜しくをお願いします。
- 山本 会員 ありがとうございます。1年持ちました。
- 飯田 会員

計 56,000円

累計 ¥1,345,920円

発行 千葉東ロータリークラブ 会報委員長 吉田 宏一

創立: 1991年1月21日

認証: 1991年3月6日

例会場: ホテルニューオータニ幕張

点 鐘: 毎月曜日 18:30~

事務局: 千葉市稲毛区穴川3-5-27 上総ビル 303 TEL 043(251)2790 FAX 043(251)2726

HP <http://www.chiba-higashi.jp/>

Email chiba-higashi_rc@jazz.odn.ne.jp